

教育委員会の点検・評価
(平成30年度分)
報告書
(社会教育関係事業抜粋)

令和元年 5 月
境港市教育委員会

【目標3：社会教育の充実】

事業名	学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業	担当課	生涯学習課
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを取り巻く環境が大きく変化するとともに、家庭や地域の教育力が低下している。未来を担う子ども達の健全育成を図るため、学校・家庭・地域住民等がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりを引き続き目指す。 学校・家庭・地域の連携協力のための様々な取り組みを支援し、社会全体の教育力の向上を図る。 		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度より教育委員会事務局内に学校支援コーディネーターを配置し、市内小中学校10校と学校ボランティアとの調整を図りながら、学校の要望に応じて様々な教育活動を支援する。 国の委託事業を平成23年度から国県の補助事業として実施。 「学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業」（市1/3負担） 		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 学校の要望に応じて様々な教育活動を支援した。 →登下校安全指導、読み聞かせ、環境整備等 「コーディネーター便り」を配付し、事業内容の啓発を図った。 配布先：学校、保護者、公民館、当該ボランティア等 見守りボランティア意見交換会を実施した。 市内統一の帽子・ベストを配布した。 		
予算額	1,097千円		
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> 市内統一のベスト等を配布した効果もあり、不審者事案が減った。 見守りボランティア意見交換会を実施し、研修するとともに、課題の共有等が図れた。 中学校を花の植栽、読み聞かせなどで支援した。 		
評価	○	概ね順調	
課題・問題点	この事業が市民全体に周知出来ていない。		
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> 現在は、各地区を対象としたコーディネーター便りを作成していたが、市全域を対象としたコーディネーター便りに変更を検討。 学校が必要としている支援を聴取する。 		

※学識経験者による指摘・助言

・公民館を主体として、学校及び各地域団体が協力し合う環境を整えることが必要であり、コーディネーターに期待したい。

【目標3：社会教育の充実】

事業名	読書活動推進大会開催事業	担当課	生涯学習課
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタートに始まり、「朝読」、「ファミリー読書」というように、赤ちゃんから大人まで生涯を通した読書活動の推進を図る。 ・「読書まつり」を実施し、読書の楽しさ・大切さを伝える。 		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ団体等による読み聞かせ、読書に関する展示、その年々のテーマに沿った講演会等を開催し、様々な形で読書活動を市民に周知し生涯読書の推進を図る。 		
実施状況	<p>◎テーマ 『境港市読書まつり』～赤ちゃんから大人まで本で楽しいひとときを～</p> <p>日時 12月16日(土) 10:30～15:30</p> <p>場所 保健相談センター</p> <p>参加人数 約500人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会 演題：「海士町・島まるごと図書館構想」 ～本とともにつくる地域の未来～ 講師：磯谷 奈緒子氏（海士町中央図書館 図書館主任） ・おでかけ図書館ウォッチング読んでみる？ ・乳幼児と楽しむ絵本とわらべうた（境港親と子どもの劇場） ・絵本作家による絵本と歌の披露（しまだ ようこさん） ・ビブリオバトル（境港読書会「の場所」） ・手話パフォーマンス（境港総合技術高等学校） ・コマの不思議を体験してみよう（米子工業高等専門学校） ・学校図書館展示（各小・中・高等学校図書館の取組を紹介） ・1箱本屋さん（一般公募） ・写真展示（一般公募） ・手作りカフェ（境港市女性団体連絡協議会他） 		
予算額	102千円		
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会、学校図書館展示、手話パフォーマンス、絵本作家による絵本と歌の披露、お話し会など魅力的な催しを行い、多くの方にお越しいただいた。 ・学校図書館展示に高等学校からも参加をいただき、市内全小中高等学校の図書館の取組が紹介できた。 ・日程を11月から12月に変更したことで、中高生が参加しやすくなり、全体参加人数も約350人→500人と増加した。 		
評価	◎	順調	
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より会場が保健相談センターとなり、各部屋で開催するイベントで部屋が狭く参加者がいっぱいになった。また、時間が重なり参加が出来ない状況が発生した。 		
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント会場の部屋の割り当て検討 ・イベント時間設定の検討 ・新しい会場となったため広報の方法を検討 		

※学識経験者による指摘・助言

- ・読書祭りの継続は必要だが、各イベントが旨く時間配分されていたのか検証されたい。

【目標4：体育・文化の振興】

事業名	クロアチアセーリングチームキャンプ 受入事業	担当課	生涯学習課
事業の目的	東京オリンピックやレーザー級世界選手権を目指す海外のセーリングチームを誘致することにより、地元選手の競技力向上を図るとともに、レーザー級世界選手権へ向けて市民の機運を高めていく。		
事業概要	鳥取県セーリング連盟をはじめとする関係機関とともに境港市東京オリ・パラキャンプ実施委員会を組織し、当チームの受け入れにあたり、チームの滞在中、選手と市民との交流の機会を設けていく。		
実施状況	<p>【練習（キャンプ）】</p> <p>期日：10月17日（水）～11月4日（日）</p> <p>会場：境港公共マリーナ及び美保湾</p> <p>※滞在中、11月4日には全日本レーザー級選手権に出場したほか、地元の中学・高校生にも指導</p> <p>【市民歓迎会】</p> <p>主催：中浜地区青壮年会</p> <p>期日：10月20日（土）</p> <p>会場：幸神町会館</p> <p>内容：郷土芸能披露、バーベキュー</p> <p>参加者数：162人</p> <p>【中学校訪問】</p> <p>期日：10月22日（月）</p> <p>訪問先：第二中学校（1年生）</p> <p>内容：セーリング競技の説明、オリンピックメダル披露・選手による講演、給食交流</p>		
予算額	400千円		
成果・効果	今回のキャンプ実施により、滞在したチームにとって競技力向上につながっただけでなく、地元のセーリング選手にとっても、世界レベルの選手から直接指導を受けることができ、貴重な機会となった。また、日頃セーリングに関わりのない市民にとっても、選手との交流を通じ、セーリング競技に関心も持つ機会となった。		
評価	◎	順調	
課題・問題点	特になし		
検討事項			

※ 学識経験者による指摘・助言

・セーリングチームの受け入れにより、市民間の関心度が高まったように感じられ良い事業であった。

【目標4：体育・文化の振興】

事業名	市民会館閉館記念事業	担当課	生涯学習課
事業の目的	長年市民に親しまれた市民会館を市民とともに振り返るとともに、(仮称)市民交流センター建設へ向けた機運の醸成を図る。		
事業概要	市民会館の閉館を記念し、市民会館ゆかりの演奏家(団体)によるコンサート、市民会館の移り変わりを写した写真の展示を行う。		
実施状況	<p>【ミニコンサート】</p> <p>会期：4月30日(月・祝)</p> <p>出演団体：4団体(合唱・吹奏楽・境さんこ節・フルート&チェンバロ)</p> <p>来場者数：189人(出演者・スタッフを含む)</p> <p>【写真展】</p> <p>会期：4月26日(木)～30日(月・祝)</p> <p>展示点数：60点(市民会館建設風景・市民会館で開催されたイベントの写真など)</p>		
予算額	135千円		
成果・効果	当事業の実施を通じ、市民が市民会館の歴史を振り返るとともに、(仮称)市民交流センター建設へ向け、市民の機運を醸成する一助となった。		
評価	◎	順調	
課題・問題点	特になし		
検討事項			

※ 学識経験者による指摘・助言

- ・写真展は展示写真を懐かしがって鑑賞されておられる方が多く見受けられた。